

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RE2	科 名	ファッション流通科 2 年	単 位	2 単位
科目コード			リテールプランニングコース	授業期間	通年
		科目名	ビジュアルマーチャンダイジング		

担当教員(代表)：渡邊純子	共同担当者：
---------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

五感に訴える売り場づくりの戦略である VMD の基礎知識と基本テクニックを習得する。  
文化祭でのショップ「R E T E N T」でその成果を発揮すると共に、最終課題においては個人で「仮想店舗における VMD 計画」に取り組み、実社会においてもプランニングできるようにする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
VMD の基礎 VMD とは何か [お店の GOOD&BAD・VMD の関連図・購買心理購買行動]	講義	2
VMD の基礎 MP (VP・PP・IP) について 人間の行動特性とは	講義	1
VMD の基礎テクニック ①～⑩	実習・ グループ活動	10
文化祭 RETENT 店づくりについて (店舗イメージ・什器について・レイアウト図作成)	講義・ グループ活動	3
文化祭 RETENT エントランス展示を考える (一点透視図によるデザインプランの作成)	講義・ グループ活動	1
課題「仮想店舗における VMD 計画」企画書作成&演習 プレゼンテーション	個人企画・ 演習	9

【評価方法】 S～C・F評価 学業評価70% (提出物・最終課題・学年末テスト)  
授業姿勢30% (出席状況・協調性)

主要教材図書	文化ファッション大系ファッション流通講座⑧「ディスプレイ・VP・VMD」文化出版
参考図書	VMD 用語辞典
その他資料	プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介  
グループにて文化祭のショップ『RETENT』の VMD に取り組み、最終課題では個人企画を考える。  
百貨店、大型商業施設、展示会にて VMD の企画・デザイン・施工に携わる。その実績を活かし講義と実技の両方向で VMD を伝える。  
「商品装飾展示技能検定」を推奨しており、受検対象者には対策のセミナーを行う。

記載者氏名 渡邊純子

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RE2	科 名 リテールプランニング	単 位	13	単位
科目コード	科目名 セールスプロモーション	授業期間		

担当教員(代表)：藤岡麻生	共同担当者：
---------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>社会で通用する専門用語とコミュニケーションを駆使した実習型のカリキュラムにて構成（生徒の業界に対する興味関心事も状況に応じて組み込み。）アパレル企業の初年度程度と同等レベルで体験を行う。</p>
---

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ポディ種類、見学先		
テーマ	方法	コマ数
講師自己紹介、生徒ディスカッション	座学	1
市場の理解（WEB で使用する共有言語など）	座学	1
プロセスエコノミーについて	座学	1
InstaLIVEについて	座学	1
ファンビジネスについて	グループ実習	1
ブランディング考案	グループ実習	1
各ブランドのプロセスエコノミー投稿考案、LIVE 台本作成	グループ実習	1
制作・ストーリー作成、進捗確認、instaLIVE 実施、振り返り（投稿数、フォロワー）	グループ実習	1
制作・ストーリー作成、進捗確認、instaLIVE 実施、振り返り（投稿数、フォロワー）	グループ実習	1
制作・ストーリー作成、進捗確認、instaLIVE 実施、振り返り（投稿数、フォロワー）	グループ実習	1
振り返り資料作成	グループ実習	1
振り返り資料作成	グループ実習	1
振り返り発表	グループ実習	1

<p>【評価方法】</p> <p>出席率及び授業への参加意欲、課題提出、運用アカウント実績評価</p>
---

主要教材図書
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>日本外国語専門学校エアライン科キャビンアテンダント専攻卒業後、アパレル企業へ新卒で入社。販売員、店長、ブランドインフルエンサー、エリアマネージャーマネージャーを経て本社新設部署にて SNS マーケティングを学ぶ。現在は業務委託として TSI、アダストリアや MARKSTYLER の業務を請け負う。自身が経験してきたことを含め、マーケティング用語を覚え、SNS を使用し、アパレル販売を行えるようになる。</p>
---

記載者氏名 藤岡麻生

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RE2	科 名 リテールプランニングコース	単 位	1単位
科目コード	科目名 EC ビジネス	授業期間	後期

担当教員(代表) :  
黒川智生

共同担当者 :  
福井穂尊

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

リテント活動と連動し、各ブランドの製品をBASE（ネットショップ）を通じて販売する。その準備⇒ページ製作⇒販売⇒検証と一連を通じて、EC ビジネスの基礎を体験し、以後の活動に活かす。レベルは初級～中級で、他科目で学習した内容も活用して、自ら EC ビジネスを始められるレベルを目指す。

## 【授業計画】

### ●第一段階：準備-1（特別講義枠）

- 6月30日 サイト開設にあたっての概要設計-1（コンセプトターゲット、強み、競合、PR方針など）
- 7月7日 インスタグラム連携申請手順共有紹介
- 7月14日 ささげ原稿作成方法

### ●第二段階：準備-2&製作（通常講義枠）

- 9月16日 目標設定
- 9月22日 ささげチェック
- 9月29日 発送方法と送料、及びBASE 送料設定、在庫管理方法
- 9月30日 発送段取り
- 10月6日 CSとBASE 設定
- 10月7日 プレスリリース作成
- 10月14日 FAQ ページ、特商法ページ、ショップ設定

### ●第三段階：販売

- 10月20日 EC 開店作業
- 10月28日 売り上げ動向のリサーチ、改善案検討

### ●第四段階：検証

- 11月11日 EC 閉店作業
- 11月18日 EC 最終報告資料作成①
- 11月25日 EC 最終報告資料作成②
- 12月2日 EC 最終報告資料作成③
- 12月9日 EC 最終報告資料作成④
- 12月16日 成果発表

## 【評価方法】

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

BASE を利用した EC サイト構築、運営をチーム単位で実践。

記載者氏名 福井穂尊

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RB1	科 名	ファッション流通科 1 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	ファッション色彩	授業期間	( 通 年 )

担当教員(代表) : 三木ゆか	共同担当者 : 落合里美
-----------------	--------------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心にを行いながら習得する。ファッション色彩能力検定 3 級に対応。テキストの内容に沿った講義や実習プリントの学習を通し、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッションカラーコーディネートへのセオリーなどを理解し、ファッションの現場で活用できる能力を身につける。

## 【授業計画】

- 導入 色について 〈講義 1 コマ〉
- 色の三属性 色の三属性（色相・明度・彩度）  
等色相面／色立体  
Hue & Tone システム 〈講義および演習 5 コマ〉
- 配色の基礎 色相を基準とした配色  
トーンを基準とした配色 〈講義および演習 6 コマ〉
- ファッションカラーコーディネート フォ・カマイユ配色、トーン・イン・トーン配色  
トーン・オン・トーン配色、グラデーション配色  
コントラスト配色  
セパレーションカラー、アクセントカラー 〈講義および演習 4 コマ〉
- 色彩構成の基礎 シンメトリー／アシンメトリー  
レピテーション／グラデーション 〈講義および演習 2 コマ〉
- 色彩の理論（テキスト『ファッション色彩 1』に沿った、ファッション色彩能力検定試験 3 級に対応する学習）  
1 章「概論－色彩のはたらき」／2 章「色彩の体系」／3 章「色彩理論－基礎」  
4 章「色彩の技術」／5 章「ファッション産業と色彩」 〈講義 7 コマ〉
- パーソナルカラー 4 シーズンのカラーパレット  
4 シーズンの特徴  
パーソナルカラー診断 〈講義および演習 3 コマ〉

## 【評価方法】

S～C・F 評価

前期試験の得点、F 色彩能力試験 3 級合否 30%、提出物の評価 40%、出席、課題の提出状況など授業態度 30%

主要教材図書 『ファッション色彩 1』（文化出版局）

参考図書

その他資料 ベーシックカラー 140・B6 判、ベーシックカラー 140・B8 判（日本色研事業株式会社）、カラーチャート 140

## 授業の特徴と担当教員紹介

カラーコーディネーターのキャリアを活かし、ファッション業界の現場でビジネススキルとして活用する「カラーコーディネート」の習得を目指す授業を実施。

記載者氏名 三木ゆか